

都市再生整備計画 事後評価シート
太田市中心市街地地区

平成23年3月

群馬県太田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	太田市(おおたし)	地区名	太田市中心市街地地区			面積	430ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	3.612 百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		公園(呑龍公園整備)、地域生活基盤施設(自転車駐輪場; 高架下整備、情報板: 地区エリア内)、高質空間形成施設(歩行支援施設; 高架下整備、緑化施設等: 太田駅北口駅前整備・御城道)、高次都市施設(人工地盤等; 南北自由通路整備; 金山遊歩道整備、地域交流センター; 地域活用センター整備)、土地区画整理事業(太田駅周辺地区)						
	提案事業		地域創造支援事業(観光案内所整備事業・下水道整備事業・河川改修整備事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくり推進協議会)						
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		基幹事業		提案事業				

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	駅(前)利活用数(駅利用含む)	人/日	9,600	H16	10,500	H22	9,901	9,526	×	あり なし	H22の評価値では目標値が未達成であったが、H20までは増加傾向にあった。「指標2」で現れているように、観光客数は増加しており、駅周辺整備による利便性向上や利用者増加など、一定の効果はあったと認められる。	H23/10
	指標2	観光客入れ込み客数	人/日	400	H16	450	H22	494	687	○	あり なし	観光施設およびアクセスルートなどのハード整備とともに、駅を中心とした情報板や観光案内所などの情報発信のソフト事業が充実し、観光客の増加につながった。	H23/10

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	整備に対する満足度(駅周辺の利便性)	%	-				90.7			北口駅前広場や南北自由通路の整備により利便性が向上し、良好な評価につながった。	-
	その他の数値指標2	整備に対する満足度(金山周辺施設の利用意欲)	%	-				82.2			地域活用センターや御城道、金山遊歩道の整備によって、金山周辺の魅力が向上した。加えて、駅からのアクセス性も改善し、良好な評価につながった。	-

4) 定性的な効果発現状況

- ・駅構内施設の利用促進を図るため、平成19年より毎年8月に太田商工振興連合会主催で、南北自由通路などを利用した「駅なか納涼祭」が開催されるようになった。
- ・呑龍公園がリニューアルしてテントが設置しやすくなったことから、平成22年9月の「手作り呑龍さま祭り」で、「B-1グランプリ」に出場する「太田焼きそば」や「富士宮焼きそば」「横手焼きそば」などの屋台が設置され、多くの来訪者で賑わった。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	当初指標の定期的な確認(年3回)	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も継続的に数値を把握し、事業効果の持続性を確認する。	
	住民参加プロセス	太田駅周辺地区まちづくり推進協議会の活動	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	区画整理事業に伴う新しい駅前商店街のあり方等をテーマとして活動し、当初に計画した目的を達成したため、今後の活動は下部組織である各地区の研究会等に活動を引き継ぐ。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		
持続的なまちづくり体制の構築	太田駅周辺地区まちづくり推進協議会の活動内容の充実	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	広報や市のHP等による情報発信により、参加者の増加やまちづくり活動の啓発に努める。		

様式2-2 地区の概要

太田市中心市街地地区(群馬県太田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
太田市の「顔」である「太田駅」を拠点に、交通結節点の機能強化、都市景観の向上などを一体的・総合的に整備し、歴史・文化・自然を融合した高付加価値ある新都心への再創造 目標1: 都市機能が整備された、にぎわい・潤いのある中心市街地の再生 目標2: 金山と駅周辺地区を歴史と緑の回廊で結び、市民や来訪者の交流を創出	駅(前)利活用数(駅利用含む)	単位: 人/日	9,600	H16	10,500	H22	9,526	H22
	観光客入れ込み客数	単位: 人/日	400	H16	450	H22	687	H22
	市民満足度・重要度アンケート	単位: 平均値	3.584	H16	4.000	H22	3.606	H22
	整備に対する満足度(駅周辺の利便性)	単位: %					90.7	H22
	整備に対する満足度(金山周辺施設の利用意欲)	単位: %					82.2	H22
	整備に対する満足度(中心市街地の景観)	単位: %					98.1	H22

関連事業
 太田駅付近連続立体交差事業
 国宝重要文化財保存整備事業
 まちうち再生総合支援事業
 太田駅周辺地区画整理事業

提案事業
 まちづくり活動推進事業
 太田駅周辺地区まちづくり推進協議会
 事業活用調査
 太田市中心市街地地区事業効果分析

基幹事業
 公園
 呑龍公園整備(4,951㎡)

基幹事業
 地域生活基盤施設
 情報板 地区エリア内

基幹事業
 道路
 市道92号線 (L=58m)
 市道101号線 (L=132m)

基幹事業
 土地区画整理事業: 太田駅周辺地区(31ha)

提案事業
 地域創造支援事業
 下水道整備事業(L=900m)

提案事業
 地域創造支援事業
 河川改修整備事業: 小蛇川(L=400m)

提案事業
 地域創造支援事業
 自転車保管施設整備事業: 高架下

提案事業
 地域創造支援事業
 防犯カメラ(設置事業)

提案事業
 地域創造支援事業
 観光案内所整備事業

基幹事業
 地域生活基盤施設
 駐車場: 地区エリア内(太田駅北口駅前広場内)

基幹事業
 地域生活基盤施設
 地域防災対策整備

基幹事業
 地域生活基盤施設
 自転車駐車場: 高架下整備

基幹事業
 高次都市施設
 地域活用センター整備(900㎡)

基幹事業
 高次都市施設
 人工地盤等: 金山遊歩道整備(遊歩道・遊歩道橋)

基幹事業
 高質空間形成施設
 緑化施設等: 御城道(改良整備事業: L=1,200m)

基幹事業
 地域生活基盤施設
 浸水対策調整池整備(70㎡)

基幹事業
 高次都市施設
 ものづくり教育研究施設整備事業

提案事業
 地域創造支援事業
 ものづくり教育研究施設整備事業

基幹事業
 高質空間形成施設
 緑化施設等: 太田駅北口駅前広場整備(6,300㎡)

基幹事業
 高質空間形成施設
 緑化施設等: 歩道高架北7号線(L=92m)
 緑化施設等: 歩道高架北8号線(L=53m)

基幹事業
 高次都市施設
 人工地盤等: 南北自由通路整備(L=43m)

基幹事業
 高質空間形成施設
 歩行支援施設: 高架下整備(公衆トイレ)

基幹事業
 高次都市施設
 駅なか文化施設整備(650㎡)

凡例
 ■ 基幹事業
 ■ 提案事業
 - - - 関連事業

まちの課題の変化

- ・都市環境の整備が遅れていた当地区において、施設整備により新たな都市景観が形成されるとともに、駅周辺の整備によって利便性が向上し、市の核にふさわしい都市基盤と交通拠点としての機能の充実が図られた。
- ・地域活用センター、駅なか文化館、観光案内所など、地域観光や情報発信のコア施設の整備が図られ、市の代表的な観光地である金山を中心として、観光客等の交流人口が増加している。
- ・御城道、金山遊歩道の整備によって、金山と駅周辺の連絡が図られ、市民および来訪者の利便性向上に寄与している。
- ・交通・文化・観光等の各拠点施設が整備されたものの、今後は、さらなる利活用者の増加、施設間の連携、周辺への波及効果が課題となっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・市街地に点在している地域活用センターや駅なか文化施設、ものづくり教育研究施設などの文化・交流施設を有効に活用するため、それらを連絡するネットワーク方策の立案を図るとともに、市民や民間企業による利用を推進する。
- ・市の核として魅力を向上させるため、駅周辺の土地区画整理事業の早期整備に努め、駅前商店街の更新と定住人口の増加を促進する。
- ・諸施設の機能維持のため、地域住民、利用者の意識喚起を促すソフト施策の推進を図る。
- ・実効性のある事業展開を図るため、計画段階において、住民意向の反映、事業効果のPR等に努める。